



特集

やいたぐるみで、 子育てに、ヨユウを。

「仕事と育児の両立で毎日があっという間…」
「これからの教育費、大丈夫かな…」

市子ども計画策定時のアンケートでは、約80%が共働き世帯で、そのうち約60%の方が子育てに不安や負担を抱えているという現状がわかりました。中でも切実なのが「費用の軽減」を求める声。

日々奮闘する子育て世帯の心と家計に、少しでもヨユウを届けたい——。そんな思いから生まれた「子育てに、ヨユウを。プロジェクト」が今年度より、始動しています。

ヨユウを生み出す4つの柱

子育て世代の皆さんの毎日に、確かな「ヨユウ」を生み出すため、市は「ココロ・オカネ・シゴト・ミライ」という4つの柱を立て、多角的なサポートを開始します。



がんばれる日も、そうじゃない日も。
あなたがずっと笑顔でいられるように。



ココロ

- ・窓口手続のDX化推進
- ・産前産後の外出支援
- ・医療・育児相談の充実
- ・預かり事業の充実 など

いろんなカタチの応援で、
肩の力を抜いて過ごせる毎日へ。



オカネ

- ・12の「0円」パッケージ
- ・若者の通勤・住まいへのサポート
- ・妊娠・出産への金銭的支援
- ・無償の自宅学習支援 など

キャリアも子育てもあきらめず、
どちらの自分も愛せる生き方を。



シゴト

- ・延長保育・病児保育の無償化
- ・女性が活躍できる企業を支援し、職場環境の改善へ
- ・女性の就業・学び直し支援 など

安心して一歩踏み出せる、
そんな未来を次につなぎます。



ミライ

- ・結婚支援センター登録料無償化
- ・プレコンセプションケア*の推進
- ・人間力・国際力を高める教育の推進
- ・若者同士のイベント支援 など

*性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行う取組のこと。

やいた
子育てに、
ヨユウを。
プロジェクト

矢板市は、日々子育てに向き合うパパ・ママの不安や負担を少しでも軽くするお手伝いに取り組んでいます。
子育てに、ヨユウなんてないのは重々承知のうえ。だからこそ、少しでも、かゆい所に手が届くような施策の充実を進めます。

Yaita vol.1195 広報やいた 2026年7月号

CONTENTS 目次

- 2 特集 やいたぐるみで、子育てに、ヨユウを。
- 8 地域の子カラ、部活のミカタ。ほか
- 10 石仏案内帖 ほか
- 12 今月のニュース & トピックス
- 16 はつらつ通信
- 17 市からのお知らせ
- 28 ゆかりびと・編集後記

COVER 表紙の写真

表紙は、3カ月の双子の赤ちゃんを抱っこする小野崎さんご夫婦。パパとママの腕の中で気持ちよさそうにうとうとする姿に癒やされました。「双子の上には3人のお姉ちゃんがいるので、家の中はとてにぎやかです」と笑顔で話してくれました。



POPULATION 人口 (6月1日現在)


29,464人 (△ 19)	出生	6人
男 14,734人 (△ 17)	死亡	32人
女 14,730人 (△ 2)	転入	54人
13,387世帯 ()	転出	47人

() 内は5月1日との比較 *住民基本台帳をもとに算出
△は減


ライフステージごとの切れ目のない子育て支援

令和8年度は全50事業でスタート。その中から、注目の事業をピックアップしてご紹介します。


¥0 すてきな出会い、後押しします。
とちぎ結婚支援センター登録料の無償化
登録料 **10,000円 → 0円**




¥0 お出かけに、もっと安心を。
マタニティタクシー券の配布
24,000円分をプレゼント




¥0 焦ってお迎えに行かなくても、大丈夫。
保育園の延長保育料金
全施設で延長料金 **0円**




¥0 9年間で約60万円のヨユウを。
学校給食の完全無償化
小中学生の給食費補助を独自に上乗せ
約 **600,000円 → 0円**




矢板で暮らす、その決断に応えたい。
やいたぐらし応援補助金
住宅の取得に対する補助
(リフォーム加算など)




¥0 がんばるママを、一人にしません。
産後ケア事業無償化 (7回まで)
利用料自己負担額 **0円**



きょうだいが増えても、安心して。
第2子以降保育料の無償化
所得制限なしで第2子以降の保育料 **0円**




¥0 学ぶ楽しさ、土日も無償で。
ともなり学習教室・中学生放課後学習塾
塾講師による質の高い学習支援を休日
や放課後に提供します。





結婚



2人の門出を、最大60万円応援。
結婚新生活支援事業
新生活の家賃や引越費用などを補助




市外で働く若者の、足元を支える。
若者市外通勤サポート事業
市外へ通勤する若者へ
最大 **30,000円**を補助




産前・産後



あなたの「働きたい」を応援。
女性向け就業サポート事業
就職・復職をイベントや相談でバックアップ。自分らしいキャリア形成を支援します。



わが子の成長、専門家が伴走します。
個別相談による支援
育児の不安や発達の悩みに対し、言語聴覚士や理学療法士などの専門職が見守り、成長を支えます。

¥0 まだまだあります！自己負担「0円」パッケージ
アンケートで最も多かった「費用の軽減」に応えるため、「ヨユウをつくる『0円』パッケージ」が12の事業でスタートしました。

- ・「ルナルナ」プレミアムコース利用料0円
- ・おむつ処理用ごみ袋2,000円分プレゼント
- ・子ども・妊産婦医療費窓口負担0円
- ・18時以降の学童保育延長料金0円
- ・1カ月児健診6,000円まで自己負担0円




育児



困ったときは、頼っていいんです。
子育て短期支援事業
保護者の方が病気や急用で育児が難しいとき、お子さんを里親宅や施設で大切にお預かりします。

¥0 必要ときは、無理せず使ってください。
病児保育室の無償化 (年5回まで)
塩谷病院病児保育室の利用料 **2,000円 → 0円**




就学



一人ひとりに、最適な学びを。
小中学校でのAIドリル活用
AIがお子さんの学習の進度に合わせて問題を出し、自ら学ぶ習慣作りをサポートします。



*病児保育室の利用には年度ごとの事前登録が必要です。市公式LINEからも簡単に手続きが可能です。



塩谷病院 病児保育室 保育士の皆さん

病院併設だからできる安心の病児保育

令和7年10月に開設した塩谷病院 病児保育室では、これまで約80人のお子さんをお預かりしてきました。病院併設の強みを生かし、高熱や嘔吐などの急な症状にも、医師・看護師と密に連携して安心・安全に対処しています。少しでも不安があればお気軽にご相談ください。

国際医療福祉大学塩谷病院 病児保育室
☎(47)6631 *平日8:00~17:00



いつも子どもたちのために全力な
パパ・ママの肩の荷がふっと軽くなるように。

やいたぐるみで、
あなたを支えます。

がんばる毎日に、ほっと、ヨユウを。

あなたの声が次のヨユウを作ります



アンケート
回答はこちら



「子育てに、ヨユウを。プロジェクト」では、7・10・1・4月の年4回にわたり、市公式LINE・子育て支援アプリ「やいたぐるみ」などによるWebアンケートを実施し、分析結果を令和9年度の予算・事業へ反映させていきます。家事や育児の合間にスマートフォンで簡単に回答できますので、あなたの声をお聞かせください。

子育て支援アプリ ダウンロード
やいたぐるみ



市公式LINE
友だち追加



みんなで育てる、矢板のミライ

子どもたちの笑顔は、矢板市の宝物です。直近10年間、全国平均より約20%も早いペースで出生数が減少している本市。持続可能なまちづくりに取り組む上では、子育て支援の強化が求められています。

本プロジェクトでは、国や県の子育て関連補助制度を調べ上げ、それらをフル活用しながら、子育て世代の支援策を練ってきました。

多くの施策は国・県の支援が入るため
国補助 1/3 県補助 1/3 市の負担 1/3
市の負担は **1/3** で市民への効果は **3倍** に！

また、経済的な視点だけでなく、子育て中の不安に寄り添う「ココロ」の視点、仕事との両立を支援する「シゴト」の視点なども新たに柱として掲げています。

子どもがのびのびと育ち、家庭の笑顔が増え、地域のあたたかなつながりが育まれることが、まちの未来を支える力につながります。

子育てしやすいまちは、誰にとっても暮らしやすいまち。矢板市は、子どもたちの笑顔があふれる未来へ向けて、保護者に今より少しでも“ヨユウ”が生まれることを目指し、地域ぐるみで子育てを支えています。

矢板市長 森島 武芳